







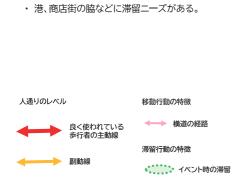


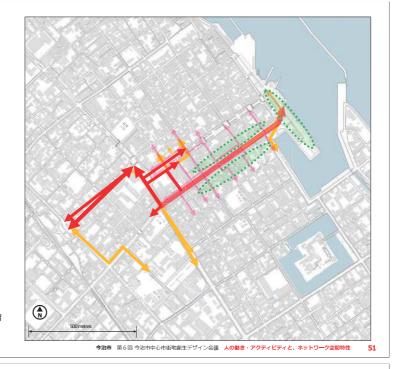


1. 現況の人の動き・アクティビティの把握 (4) 現況調査のまとめ

歩行者量分布・行動特性(現況のまとめ)

- ・ 商店街、広小路では、部分的に良く使われて いる箇所がある。
- ・商店街、広小路とつながる横道は、移動、滞 留ともに、有効活用の可能性がある。
- ・駅〜裁判所周辺、芝っち広場〜国際ホテル、 などが、副次的な動線となっている。





1. 現況の人の動き・アクティビティの把握 (4) 現況調査のまとめ

歩行動線と拠点

- ・現況の歩行者量分布・行動特性と、既存の主 な拠点(駅、公共施設、ホテル、商業施設等) の関係をみると、これらに密接な関係がある ことがわかる。
- ・ 今治城は、これら中心部から徒歩圏内であり、 経路の顕在化が望まれる。



良く使われている 歩行者の主動線

横道の経路 滞留行動の特徴

副動線

イベント時の滞留



1. 現況の人の動き・アクティビティの把握 (4) 現況調査のまとめ

歩行回遊動線を広げる戦略のイメージ

ポイント

- ・ 拠点間が遠すぎない(数分ごとに何かある)
 - → 途中に休憩できる滞留空間がある
- ・ 見える→行ける、シンプルな経路
 - → 遠回り感が少ない

さらに、、

- ・ 沿道に建物開口があり、楽しさと安心感がある
- ・ 緑陰があるなど、快適な環境で歩ける など 今後、詳細に分析予定



既存の拠点



顕在化する拠点

